

様式第3号（第13条関係）

会議録

会議の名称	朝霞市立朝霞第六小学校第6回学校運営協議会	
開催日時	令和6年2月22日(木) 午前9時00分から 午前10時30分まで	
開催場所	朝霞市立朝霞第六小学校四階空き教室	
出席者及び欠席者の職・氏名	<p>【出席者】・渡邊聡 委員長・渡邊由恵 副委員長          ・尾池富美子委員・鈴木幸恵 委員・渡邊 誠 委員          ・前田 敏 委員・田邊雅也 委員（校長）          〈事務局〉          ・犬木勝（教頭 事務局）池崎 敏博（教頭 事務局）          ・岩本雄剛（主幹教諭 事務局）</p> <p>【欠席者】・吉山隼人 委員</p>	
議題	<p>(1) 学校評価アンケートについて          (2) 今年度の学校の取組と次年度に向けて          (3) 次年度の地域連携の取組について          (4) その他（卒業式、入学式について 等）</p>	
会議資料	・会議次第	
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	<input type="checkbox"/> 要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input checked="" type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月
会議録の確認方法		委員長による確認
傍聴者の数	0人	
その他の必要事項		

## 審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

### 1 開会の言葉（教頭）

第6回学校運営協議会の次第説明。本日10:45～4-5ゲストティーチャーを招いての道徳授業を行う。各社取材関係者来校。

### 2 学校運営協議会 委員長挨拶

委員長：学校運営協議会も6回目、集まるたびに闊達な意見が出ている。各学年様々な取り組みをしている。子供たちのために、よりよい6小のための話し合いがしたい。本日もよろしくお祈りします。

### 3 学校長挨拶

校長：大谷グローブ6小で回しながら活用している。1・2年生音楽鑑賞教室ミュージシャン『エバリー』来校。本物の音楽に触れる機会があった。全学年で大縄大会が開催されている。6年卒業発表会が開催された。本番も素晴らしかったが、それまでの過程を特に大事にしている。3年生、公園探検を行った。積極的にインタビュー等を行い、自発的に取り組んでいる。理科部ではビオトープを作成。自然の成り行きでその過程を見守っている。4年道徳の授業は地域の方と連携して行っている。5年生はマルエツとの連携として書きぞめの展示を行っている。近隣のお茶屋さん（金子園）は4年生の黒目川のポスター掲示協力を行っている。学校評価の概要を説明。概ね上昇傾向特に地域との連携、教員の授業改善が特によく伸びている。PISAの結果順位高いと推測。しかし自ら学ぶ意識が低いことが課題。次年度「すららドリル」を導入予定。

子どもたちは自助、互助はできるようになってきているが共助は難しい。

委員：私立に行く児童が何人いるか。35人学級はどうなっているか。

教頭：次年度は、5年生まで35人学級。6年生は異なる。

教頭：本年度私立に入学予定児童は25人程度。

委員：全体的に多い傾向にあるように思う。

教頭：昨年度は5名程度、少なかった。

委員：朝霞は東京に近く、行きやすいのではないか。

委員：一中の人数多くなってきている。施設の関係ではないか。

委員：選択制の弊害もあるのではないか。中学校の1校当たりの人数が減っている。

委員：中高一貫校はどれくらいあるか。教育的意義も高いのではないか。

### 4 協議

#### （1）学校アンケートについて（主幹教諭・校長）

主幹：アンケート結果を確認の上ご記入いただきたい。学校評価とは法的な位置づけがある。

保護者からはおおむね評価が高い、おおむね80%以上なかでも昨年低めだったところも上がっている。取り組みへの評価をいただいたと認識している。

タブレットの使い方について肯定否定の両面がある。子供たちへのプラスの活用を行う。大人の方が補助も必要、リテラシーを自覚させる教育を行う。行事関連について、持久走、音楽朝会などの実施について。働き方改革も含め教職員の研修の時間確保から行事の精選、集中的な実施を行う。学習指導要領を指針に保護者の願いも加味しながら教育活動を調整しながら

ら行う。教職員が子供のために実施したいと考えている行事も多々ある。児童アンケートも高い。前年度課題点も85%以上達成し、高い水準。保護者、児童ともに「自ら学ぶ子、進んで学んでいる」が7%上昇、親子で小名視点に立てている。

職員14項目中、11項目 課題としては規律ある態度79% 校内分掌について改革を行う予定である。

学校内でできることだけでは限界があり、人とお金が欲しい。

これらの評価結果をもとに学校評価をお願いし、次年度の計画に加味していきたい。

委員：授業中にタブレットでYouTubeを勝手に視聴している児童がいたとの話を聞いた。リテラシーの問題もあるがなかなか難しい。学力との関連も心配。

委員：発表等は頑張るが、普段の授業について心配もある。使いこなせるためには時間が必要。

校長：iPadの使い方もあるが、携帯電話の使い方もある心配。

委員：グループLINEの管理が難しい。

校長：管理を大人がしっかり見ていかななくてはならない。

教頭：iPadのスクリーンタイムを導入予定。文章も発出予定。

教頭：学校で配付しているタブレット端末は授業中気づいたり、ひらめいたときにすぐに使えるツールとして、文房具として活用していくことが、国や朝霞市の方針である。

委員：理想としては理解できるが、ある程度の規制は必要。

教頭：二極化が進んでいる。正しく利用できる子はしているし、できない子はできない。

校長：保護者への啓発文章に学校運営協議会の名前を入れていいか。

委員：自主等は致し方なしの部分はあるが、気を付けていかななくてはならない。

教頭：文章に関しての文言をどのようにするか。

委員：iPadの使い方、携帯の使い方を継続的に行う必要がある。

委員：テトルが導入されたが、学校からのお手紙をすべてカバーするのは難しい。なかなかこまめに見ないのではないか。

委員：携帯の使い方について学校がどこまで入るかが難しい。

委員：iPadの件と、携帯電話の件は、別としてとらえて考えるとよいのではないか。

委員：教育委員会の考えはどのようにした方が良いか。

教頭：iPadの取り扱いについて随時対応を行っていく。

委員：今後のリテラシーは地域や家庭との連携が必要になってくると考える。

## (2) 今年度の学校の取組と次年度に向けて

校長：来年度の学校公開では防災と関連付けて行いたい。ポプラ社「モットソッカ」の継続を予定。家庭数月額250円で運用。低学年来年度本町保育園との連携を予定。園児を招いての小学校体験会では、1年が園児に「ヨモッカ」で読み聞かせを行った。来年度は防災の意識を高めていきたい。給食の中に北海道産の帆立が使われた。来年度は「自律と探究オーセンティックとウェルビーイング」+防災防犯で考えている。10月ふれあい推進祭り+防犯・防災の視点を入れていきたい。

委員：概ね賛同をいただく。

## (3) 次年度の地域連携の取組について

校長：次年度は5月の学校公開日の引き渡し訓練時に、町会等も参加いただき、防災

の取組を行っていけるとよい。

(4) その他

事務局：卒業式の来校時刻等について周知。後日案内を発出する。

委員：本校6年とマレーシアの小学校とのオンラインを活用した交流について、埼玉新聞11月14日版に掲載された。

事務局：次年度の予定児童数について。もう1クラス増えると教室が不足する。